

平成20年度慢性期入院医療の包括評価に関する調査
《提供されている医療サービスの質の検証》

診調組 慢-4
21.8.10

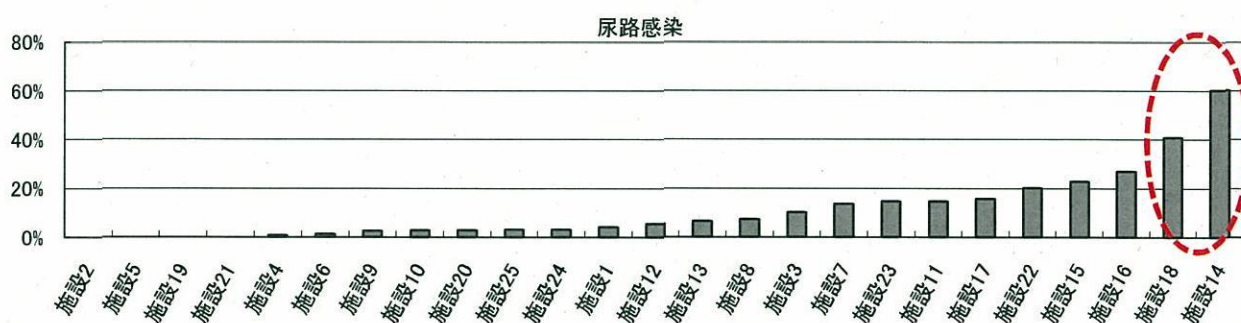
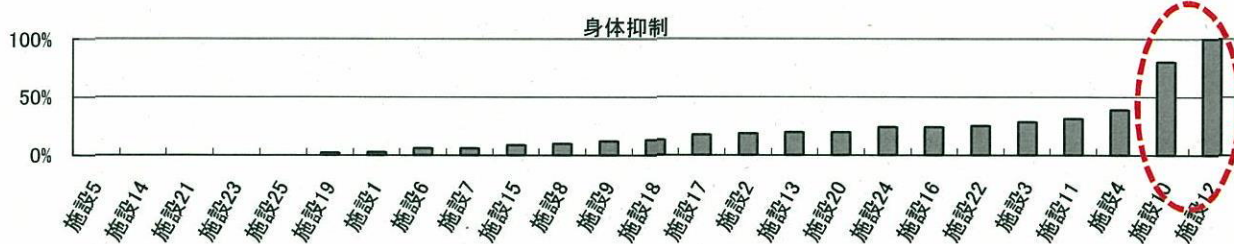
1. QI(Quality Indicator)の外れ状況が顕著であった病院に対するヒアリング結果

第2回分科会にて提出した「患者特性調査における Quality Indicator の試行」において、平均値からの外れ状況が顕著であった病院を対象に、提出されたデータの適切性についての確認を行った。

(1) 患者特性調査における Quality Indicator の試行(平成21年6月11日第2回分科会提出データの再掲)

(注)「外れ」とは、当該病院のデータが、「平均値+2標準偏差」よりも大きいことを意味する。

QI項目	病院数	分母の患者数	平均値	最大値	標準偏差	平均+2標準偏差	外れ値病院数
痛み	25	2047	4.3%	15.2%	3.7%	11.7%	2
褥瘡ハイリスク	25	1615	13.0%	31.4%	7.7%	28.5%	1
褥瘡ローリスク	24	432	2.7%	25.0%	5.7%	14.1%	1
身体抑制	25	2047	19.6%	100.0%	24.1%	67.8%	2
留置カテーテル	25	2047	14.6%	35.3%	9.6%	33.7%	2
尿路感染	25	2047	11.2%	60.3%	14.4%	40.1%	2
ADLの低下①	24	1649	7.5%	24.7%	6.1%	19.7%	1
ADLの低下②	22	253	10.7%	33.3%	11.0%	32.7%	2



(2) ヒアリング結果

施設番号	外れ状況の内容	施設側の回答(概要)
施設10	身体抑制が80%	ベッド柵を使用している。調査票記入に間違いはない。
施設12	身体抑制が100%	患者の安全を考慮して4連のベッド柵を使用している。調査票記入に間違いはない。
施設18	尿路感染が60%	発熱時に必ず検尿をしている。1度でも症状が認められると調査票上カウントしている。調査票記入には間違いはない。
施設14	尿路感染が41%	オムツの利用が多いからかもしれない。調査票記入に間違いはない。